

製品名: カスパーゼ 3 (1B10) マウスモノクローナル抗体

カタログ番号: AMM00742

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:50-1:100
分子量	-

抗原情報

遺伝子名	CASP3
別名	CASP3; CPP32; Caspase-3; CASP-3; Apopain; Cysteine protease CPP32; CPP-32; Protein Yama; SREBP cleavage activity 1; SCA-1
遺伝子 ID	836
SwissProt ID	P42574
免疫原	ヒトカスパーゼ 3 の組み換えタンパク質

背景

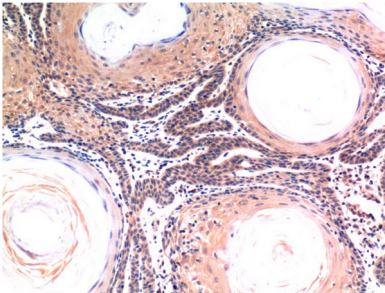
カスパーゼの連続的な活性化は、細胞アポトーシスの実行段階において中心的な役割を果たします。カスパーゼは不活性なプロ酵素

として存在し、保存されたアスパラギン酸残基におけるタンパク質分解処理を受けて大小 2つのサブユニットを形成し、これらが二量体化して活性酵素を形成します。

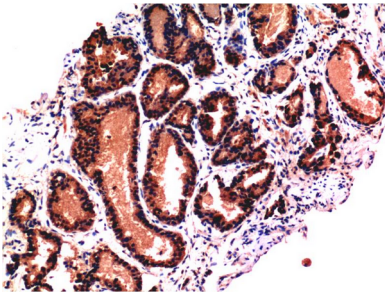
研究分野

細胞生物学

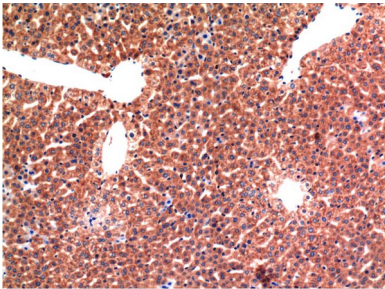
画像データ



カスパーゼ 3 (1B10) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト皮膚組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



カスパーゼ 3 (1B10) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



カスパーゼ 3 抗体を用いたパラフィン包埋マウス肝組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。